



平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 エクセディ

コード番号 7278 URL <http://www.exedy.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 春生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画室長 (氏名) 豊原 浩

TEL 072-822-1152

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	147,742	38.4	16,744	178.0	15,915	151.9	9,981	193.1
22年3月期第3四半期	106,755	21.9	6,024	44.9	6,319	39.2	3,405	41.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	205.46	
22年3月期第3四半期	70.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	159,697	114,914	67.8	2,230.27
22年3月期	153,425	109,095	67.0	2,115.38

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 108,348百万円 22年3月期 102,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		10.00		25.00	35.00
23年3月期		20.00			
23年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	21.2	18,500	70.5	17,700	66.8	11,200	102.7	230.54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む) 23年3月期3Q 48,593,736株 22年3月期 48,593,736株

期末自己株式数 23年3月期3Q 12,953株 22年3月期 12,450株

期中平均株式数 (四半期累計) 23年3月期3Q 48,581,058株 22年3月期3Q 48,581,749株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及びご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他注記事項	10
4. 補足情報	11
(ご参考) 所在地別の概況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

世界同時不況により大きく落ち込んだ自動車生産台数は、高成長率を維持する中国及び堅調に推移するアジアの各市場を中心に回復、拡大しております。当社グループにおいても受注は順調に推移いたしました。また、コストダウン活動を継続的に実施いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 1,477億円（前年同期比 38.4%増）、営業利益 167億円（前年同期比 178.0%増）、経常利益 159億円（前年同期比 151.9%増）、四半期純利益 99億円（前年同期比 193.1%増）となりました。

報告セグメントの種類別の概況は下記のとおりであります。

〔MT（手動変速装置関連事業）〕

中国を中心としたアジア地域での受注の増加により、売上高は 430億円（前年同期比 34.3%増）となりました。営業利益は、売上高の増加及びコストダウン活動により、72億円（前年同期比 95.9%増）となりました。

〔AT（自動変速装置関連事業）〕

自動車メーカー及びトランスミッションメーカーからの受注が増加したことにより、売上高は 888億円（前年同期比 35.4%増）となりました。営業利益は、売上高の増加及びコストダウン活動により 80億円（前年同期比 194.6%増）となりました。

〔その他〕

アジアにおける2輪用クラッチの販売拡大により、売上高は 158億円（前年同期比 74.9%増）となりました。営業利益は、売上高の増加により 20億円（前年同期は 19百万円の営業損失）となりました。

所在地別の概況は下記のとおりであります。

〔日本〕

自動車メーカー及びトランスミッションメーカーからのAT製品の受注が増加したことにより、売上高は 949億円（前年同期比 31.7%増）となりました。営業利益は、売上高の増加とコストダウン活動が大きく寄与し 106億円（前年同期比 157.0%増）となりました。

〔米国〕

自動車メーカーからのAT製品の受注が増加したことにより、売上高は 216億円（前年同期比 35.7%増）となりました。営業利益は、売上高の増加により 7億円（前年同期比 568.1%増）となりました。

〔アジア・オセアニア〕

自動車メーカーからのMT製品の受注増加及び2輪用クラッチの販売拡大により、売上高は 290億円（前年同期比 69.9%増）となりました。営業利益は、売上高の大幅増加により 53億円（前年同期比 275.3%増）となりました。

〔その他〕

売上高は 20億円（前年同期比 30.0%増）、営業利益は 1億円（前年同期比 24.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は 1,596億円となり、前連結会計年度末に比べ 62億円増加いたしました。負債は 447億円となり、前連結会計年度末に比べ 4億円増加いたしました。主な内容は、支払手形及び買掛金の増加 19億円、設備未払金の増加 9億円、納付に伴う未払法人税等の減少 18億円、借入金の減少 6億円であります。純資産は 1,149億円となり、前連結会計年度末に比べ 58億円増加いたしました。主な内容は、利益剰余金の増加 77億円（四半期純利益による増加 99億円、剰余金の処分（配当金）による減少 21億円）、為替換算調整勘定の減少 22億円であります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の 67.0%から 67.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローで獲得した資金は、141億円となりました。増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の増加160億円、減価償却費85億円、仕入債務の増加28億円、減少の主な内訳は、法人税等の支払額62億円、売上債権の増加37億円、たな卸資産の増加31億円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は、97億円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出89億円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は、25億円となりました。主な内訳は、配当金の支払額21億円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ11億円増加し、267億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では業績予想の変更は不要と判断しており、平成22年7月27日に公表いたしました通期の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

・たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算定については、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は僅少であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,248	26,242
受取手形及び売掛金	36,291	33,405
商品及び製品	8,082	7,312
仕掛品	3,890	3,458
原材料及び貯蔵品	6,931	5,684
繰延税金資産	2,312	2,416
短期貸付金	622	638
その他	2,795	2,406
貸倒引当金	△92	△86
流動資産合計	88,083	81,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,716	20,807
機械装置及び運搬具（純額）	26,740	30,105
土地	8,173	8,274
建設仮勘定	6,049	2,051
その他（純額）	3,302	3,746
有形固定資産合計	63,983	64,986
無形固定資産	1,650	1,026
投資その他の資産		
投資有価証券	1,860	1,775
長期貸付金	141	123
繰延税金資産	2,304	2,793
その他	1,732	1,301
貸倒引当金	△58	△59
投資その他の資産合計	5,979	5,935
固定資産合計	71,614	71,947
資産合計	159,697	153,425

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,620	14,634
短期借入金	3,685	4,721
未払費用	5,376	5,186
未払法人税等	2,092	3,901
製品保証引当金	979	912
その他	4,952	3,554
流動負債合計	33,706	32,910
固定負債		
長期借入金	3,531	3,098
長期未払金	672	767
繰延税金負債	1,157	1,068
退職給付引当金	5,321	6,105
役員退職慰労引当金	150	155
資産除去債務	23	—
その他	219	222
固定負債合計	11,075	11,418
負債合計	44,782	44,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,284	8,284
資本剰余金	7,540	7,540
利益剰余金	99,935	92,140
自己株式	△40	△39
株主資本合計	115,720	107,926
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	345	319
為替換算調整勘定	△7,717	△5,477
評価・換算差額等合計	△7,372	△5,158
少数株主持分	6,566	6,327
純資産合計	114,914	109,095
負債純資産合計	159,697	153,425

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年12月31日まで)
売上高	106,755	147,742
売上原価	86,676	114,215
売上総利益	20,078	33,527
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,630	3,773
製品保証引当金繰入額	365	339
役員報酬及び給料手当	3,696	4,201
退職給付費用	211	46
役員退職慰労引当金繰入額	45	91
研究開発費	3,161	3,421
その他	3,941	4,908
販売費及び一般管理費合計	14,053	16,782
営業利益	6,024	16,744
営業外収益		
受取利息	43	44
受取配当金	15	17
為替差益	171	—
持分法による投資利益	2	54
その他	541	460
営業外収益合計	774	577
営業外費用		
支払利息	265	252
為替差損	—	801
その他	214	353
営業外費用合計	480	1,407
経常利益	6,319	15,915
特別利益		
貸倒引当金戻入額	27	—
製品保証引当金戻入額	106	177
特別利益合計	134	177
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	6,453	16,092
法人税、住民税及び事業税	2,403	4,463
法人税等調整額	364	652
法人税等合計	2,767	5,115
少数株主損益調整前四半期純利益	—	10,976
少数株主利益	279	995
四半期純利益	3,405	9,981

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (平成21年10月1日から 平成21年12月31日まで)	当第3四半期連結会計期間 (平成22年10月1日から 平成22年12月31日まで)
売上高	41,938	50,358
売上原価	32,621	39,441
売上総利益	9,317	10,917
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,037	1,327
製品保証引当金繰入額	32	78
役員報酬及び給料手当	1,236	1,386
退職給付費用	67	13
役員退職慰労引当金繰入額	6	5
研究開発費	1,065	1,171
その他	1,307	1,709
販売費及び一般管理費合計	4,753	5,693
営業利益	4,563	5,224
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	5	7
受取賃貸料	39	38
為替差益	39	—
持分法による投資利益	—	25
その他	56	108
営業外収益合計	153	193
営業外費用		
支払利息	99	66
為替差損	—	285
持分法による投資損失	3	—
その他	72	95
営業外費用合計	175	447
経常利益	4,542	4,970
特別利益		
製品保証引当金戻入額	—	177
特別利益合計	—	177
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	4,542	5,147
法人税、住民税及び事業税	1,173	1,018
法人税等調整額	336	591
法人税等合計	1,510	1,609
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,537
少数株主利益	264	307
四半期純利益	2,767	3,230

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,453	16,092
減価償却費	8,815	8,532
固定資産除売却損益 (△は益)	35	143
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	384	△784
受取利息及び受取配当金	△58	△62
支払利息	265	252
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,097	△3,711
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,092	△3,153
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,029	2,805
その他	370	414
小計	10,086	20,543
利息及び配当金の受取額	112	85
利息の支払額	△270	△243
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	942	△6,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,871	14,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△151	△465
定期預金の払戻による収入	18	639
有形固定資産の取得による支出	△5,810	△8,941
有形固定資産の売却による収入	48	111
無形固定資産の取得による支出	△219	△661
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
子会社株式の取得による支出	—	△409
貸付けによる支出	△21	△47
貸付金の回収による収入	35	44
その他	△97	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,205	△9,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△163	△109
長期借入れによる収入	613	1,129
長期借入金の返済による支出	△648	△1,082
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△970	△2,184
少数株主への配当金の支払額	△432	△347
その他	△7	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,609	△2,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	107	△607
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,164	1,193
現金及び現金同等物の期首残高	16,335	25,597
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,499	26,791

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）

	MT (百万円)	AT (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
外部顧客に対する売上高	32,097	65,601	9,056	106,755	—	106,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	153	1,089	3,251	4,493	(4,493)	—
計	32,250	66,690	12,308	111,249	(4,493)	106,755
営業利益又は営業損失(△)	3,713	2,725	△19	6,419	(394)	6,024

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、製品の種類・市場における用途等を考慮して、自動車用の「MT（手動変速装置関連）」事業、自動車用の「AT（自動変速装置関連）」事業、産業機械用他の「その他」事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
MT	クラッチディスク、クラッチカバー、2マスフライホイール
AT	トルクコンバータ、オートマチックトランスミッション部品
その他	パワーシフトトランスミッション・同部品、トルクコンバータ、ブレーキ、リターダ、機械装置、金型治工具、運送請負、2輪用クラッチ

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	72,119	15,982	17,113	1,538	106,755	—	106,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,552	154	2,683	2	13,393	(13,393)	—
計	82,672	16,137	19,796	1,541	120,148	(13,393)	106,755
営業利益	4,140	118	1,436	125	5,819	204	6,024

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 「アジア・オセアニア」の区分に属する国は、タイ、マレーシア、中国、インドネシア、ベトナム、豪州、ニュージーランド及びアラブ首長国連邦であります。

3. 「その他」の区分に属する地域は、欧州であります。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）

	米国	アジア・ オセアニア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	16,269	23,903	3,831	44,005
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	106,755
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.2	22.4	3.6	41.2

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 「米国」の区分には、メキシコを含めております。

3. 「アジア・オセアニア」の区分に属する主な国は、タイ、マレーシア、中国、インドネシア、ベトナム、豪州、ニュージーランド及びアラブ首長国連邦であります。
4. 「その他」の区分に属する主な地域は、欧州であります。
5. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、自動車用部品製造販売を主たる事業としております。更に、製品機能、技術仕様及び生産構造の違いにより「手動変速装置」「自動変速装置」の2つに大別し、本社を中心にグループ内部で連携をとりながら取扱製品について国内及び海外における戦略を立案し、事業活動を展開しております。また、これらについては、当社グループ各社において分離された財務情報が入手可能であり、本社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

したがって、当社グループは、マニュアルクラッチを生産する「MT（自動車用手動変速装置関連事業）」、自動変速装置・同部品を生産する「AT（自動車用自動変速装置関連事業）」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）

	報告セグメント			その他 (百万円) (注1)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注3)
	MT (百万円)	AT (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への売上高	43,095	88,811	131,907	15,835	147,742	—	147,742
セグメント間の内部 売上高又は振替高	281	1,962	2,243	5,395	7,639	(7,639)	—
計	43,377	90,773	134,150	21,231	155,381	(7,639)	147,742
セグメント利益	7,274	8,029	15,303	2,006	17,310	(565)	16,744

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △565百万円には、セグメント間取引消去 116百万円、のれんの償却額 △97百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △612百万円、その他の調整額 28百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない新製品開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため、記載していません。

(7) その他注記事項

特記事項はありません。

4. 補足情報

(ご参考)

所在地別の概況は次のとおりであります。

・当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	32,916	6,796	9,932	713	50,358	-	50,358
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,013	81	2,058	8	7,162	(7,162)	-
計	37,929	6,878	11,990	722	57,520	(7,162)	50,358
営業利益	3,273	127	1,868	25	5,295	(70)	5,224

・当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	94,978	21,681	29,082	2,000	147,742	-	147,742
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,244	226	6,064	25	22,559	(22,559)	-
計	111,222	21,907	35,147	2,025	170,302	(22,559)	147,742
営業利益	10,640	790	5,389	155	16,976	(231)	16,744

(注) 上記は、従来の「所在地別セグメント情報」と同様の基準及び方法で作成されたものであり、あくまで参考情報としての記載であります。